

資料4 - 3

基本構想の第1章（都市像と基本目標）（案）

はじめに～基本構想とは～

府中市のまちづくりにおける基本的な理念として、都市像（まちの将来像）と基本目標（目指すまちの状態）を掲げるとともに、その実現に向けた基本施策の方向性などを示すものです。

なお、令和4年度（2022年度）から令和11年度（2029年度）までの8年間を計画期間とします。

第1章 都市像と基本目標

1 都市像

わたしたちのまち府中は、地名が武蔵国の国府の設置に由来し、誇りを持てる歴史と文化が現在にも息づいており、緑をはじめとする豊かな自然環境と、商業や交通における利便性といった都市機能が調和する、魅力的で住みよいまちとして発展してきました。

わたしたちは、先人から受け継いだ貴重な財産を礎としながら、これからも市民が主役となり、誇りと愛着を持ってこのまちに住み続けることができるよう、まちづくりを進めていきます。

わたしたちは、

「人と人とのつながりを紡いで“きずな”という力にして」

「未来を拓く強い意志で何事にも取り組み」

「誰もが心ゆたかに日々の生活を送ることができるまち」

を目指して、

『きずなを紡ぎ 未来を拓く^{ひら} 心ゆたかに暮らせるまち 府中』

を都市像として掲げます。

2 基本目標

わたしたちは、都市像を実現するために、次のとおり4つの基本目標を定め、まちづくりを展開します。

基本目標1

人と人との支え合い 誰もが幸せを感じるまち（保健・福祉）

基本目標2

緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）

基本目標3

多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち（文化・学習）

基本目標4

魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）